

# 委員会の審査から

## 建設環境委員会

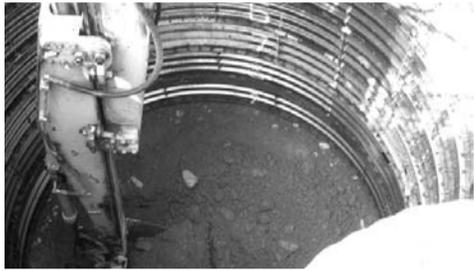
12月11日に委員会が開催され、開会後、日光橋公園の遊具を視察し、その後、議案2件と陳情1件を審査しました。

主な内容は次のとおりです。

◎平成24年度福生市一般会計補正予算(第3号)(歳出予算のうち建設環境委員会所管分)

問 商工費200万円の具体的な用途については。答 100%東京都の補助であり、市民会館小ホールでの講演会と消費者セミナーのレベルアップが主なものである。200万円の用途については、講師2名の謝礼金のほか、消費者相談室の備品、消費者保護のカレンダー、パンフレット類の印刷製本などである。

◎平成24年度福生市下水道事業会計補正予算(第2号)問 立川第2排水区、福東地区幹線の下水道管渠



▲熊川福東地区の雨水幹線整備工事の様子

今定例会の常任委員会では、本会議から付託された議案及び、継続審査となっていた陳情の審査が12月11日、12日、13日の3日間、建設環境・市民厚生・総務文教委員会の順で行われました。

また、議会運営委員会は、本会議の議事日程や議案の取り扱い、議会だよりの編集等で6回行われました。それから、横田基地対策特別委員会、災害に強いまちづくり特別委員会が12月14日に行われました。

ここでは、各常任委員会及び各特別委員会から報告された主な審査概要をまとめました。

埋設工事の大幅な契約差金については。また、工事の進捗状況については。答 約2億1千万円の契約差金については、東京都下水道局の積算基準に基づき積算を行っており、東京都の事前のチェックも受けている。また、請負業者も自社の社員等の施工技術の習得や雇用の確保などを勘案したと聞いている。

以上2件の議案は、原案のとおり可決され、陳情は引き続き継続審査となりました。

## 市民厚生委員会

12月12日に委員会が開催され、議案4件を審査しました。

主な内容は次のとおりです。

◎福生市国民健康保険条例の一部を改正する条例例

問 国保運営協議会の審議内容、賦課方式を2方式に変更する理由は。答 保険給付費の伸び等により赤字決算が続く、財源確保のため税率等を国保の広域化への備えや課税の平等性等から賦課方式を変更する。

◎福生市保育所条例を廃止する条例例

問 福生市と保育所との関係はどうなるのか。また、すみれ保育園の民営化で、市の財政負担はど



▲民営化となるすみれ保育園の園舎を視察

うなるのか。答 廃止後も、保育の実施主体は市なので、入所の受付審査、決定は行う。財政負担は、3622万1千円が削減される。

◎福生市専用水道事務等の事務委託について

問 今後、福生市から通知等は来るのか。また、事務委託の負担額はいくらか。答 この委託により事務等は、引き続き東京都が行う。委託による負担額は116万8576円となる。

◎平成24年度福生市一般会計補正予算(第3号)(歳出予算のうち市民厚生委員会所管分)

問 民生費、社会福祉費の増額の内訳、生活保護費の増加理由は。答 心身障害者福祉手当、各種障害福祉サービス利用、更生医療費、就労移行支援、就労継続支援事業所の増加による増額。生活保護費は、受給者の増加が理由である。

◎福生市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例例

問 一般事務嘱託員として、9区分から統合すると定数管理はどのようになるのか。答 嘱託職員は、年々増えている。近隣と比較するとまだ少ないが、予算上、人件費となるので、徐々に減らしていきたい。

◎福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例例

問 市民税均等割の引き上げにより、1359万円増額ということだが、収納率の関係はどのように考えているか。答 収納対策は、全般的に進めているが、均等割の引き上げも含めて、さらに収納努力をしてい

## 総務文教委員会

12月13日に委員会が開催され、議案4件を審査しました。

主な内容は次のとおりです。

◎福生市組織条例の一部を改正する条例例

問 定住化対策の進行管理の方向付けはどのようになるのか。答 企画部門で定住化対策の進行管理について詳細を詰めている。6月ぐらいに報告できるように考えている。

◎福生市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例例

問 一般事務嘱託員として、9区分から統合すると定数管理はどのようになるのか。答 嘱託職員は、年々増えている。近隣と比較するとまだ少ないが、予算上、人件費となるので、徐々に減らしていきたい。

◎福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例例

問 市民税均等割の引き上げにより、1359万円増額ということだが、収納率の関係はどのように考えているか。答 収納対策は、全般的に進めているが、均等割の引き上げも含めて、さらに収納努力をしてい

以上4件、いずれも原案のとおり可決しました。

なればと考えている。◎福生市一般会計補正予算(第3号)(歳入予算全般及び歳出予算のうち総務文教委員会所管分)

問 国有提供施設の関係で歳入が減った詳細は。答 国の予算は、前年と同額の335億4千万円で、その配分によるものだが、米軍の再編等に伴い、施設の新設、廃止等で資産が変動したこと、建物の減価償却がされていることなどによるもの。

◎福生市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例例

問 一般事務嘱託員として、9区分から統合すると定数管理はどのようになるのか。答 嘱託職員は、年々増えている。近隣と比較するとまだ少ないが、予算上、人件費となるので、徐々に減らしていきたい。

◎福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例例

問 市民税均等割の引き上げにより、1359万円増額ということだが、収納率の関係はどのように考えているか。答 収納対策は、全般的に進めているが、均等割の引き上げも含めて、さらに収納努力をしてい



▲国体PR用懸垂幕

## 議会運営委員会

定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取り扱い等の協議及び議会だよりの編集を行う議会運営委員会が閉会中も含め6回開催されました。

## 行政視察報告

福生市議会では、全国の市町村の特色ある施策を、今後のまちづくりの参考にするため、委員会の視察を行っています。今回は、常任委員会及び特別委員会が先進地の視察を行いました。なお、視察報告書の本文を市議会ホームページに掲載しています。

## 建設環境委員会

視察目的 ①まちなか再生事業について ②定住促進事業について

視察先 ①富山県滑川市 ②石川県かほく市

視察日 平成24年10月2日(火)～3日(水)

①旧市街地の人口減少及び空き地空き家対策として、平成20年から住宅取得補助や家賃助成の「まちなか居住推進事業」と「市街地空き地空き家活用支援事業」を「まちな



▲滑川市のまちなか再生事業を視察

か再生事業」として行っています。その中で限度額50万円の住宅取得補助事業は35件が活用し、一定の成果を収めています。②まちなかづくりの基本は、人口を増やすことだとの考えから、若年層人口の拡大によるまちの活性化を目指し、平成22年度より「定住化促進事業」を行って行っています。その中で「若者マイホーム取得奨励金事業」は、45歳未満の方が市内で一戸建て住宅(50㎡以上)を新築、又は購入した場合、最大で100万円の建設奨励金を交付する制度で、3年間で170件、定住者数608人(転入者数223人)と大きな成果を収めています。費用対効果の問題を含め、参考になる視察となりました。

## 市民厚生委員会

視察目的 ①多職種協働による地域医療連携について ②市民後見推進事業について

視察先 ①広島県尾道市 ②岡山県岡崎市

視察日 平成24年10月4日(木)～5日(金)

①尾道市は在宅退院時な

次頁へつづく